

# パークOの安全対策についてアンケート実施結果報告書

調査期間 2018年6月4日～6月13日  
NPO法人 埼玉県オリエンテーリング協会  
関東パークOツアー担当 宮川・原野

## 実施の目的

パークOは公園内において様々な年齢層の来園者が楽しんでいる中で行う競技です。公園内を四方八方に高速で走り回る競技者に対して公園管理者や来園者は迷惑行為だと感じているのは間違いのないと思います。このため市街地の公園で開催するのが益々難しくなっていると関係者から耳にします。

今までに接触事故が起こらなかったのは幸いですが今後とも発生しないとは言えません。もし、接触による重大な負傷事故が発生しマスコミが取り上げ「安全面を考えない迷惑で危険なスポーツだ」と報道されると今後はパークOを開催することが不可能になったり、法的な問題にも発展しかねません。

そこで、パークOについて現状の問題を把握し関係者が安全面をどのように考えているのか今後の安全対策の参考にしたいと考えアンケートを実施することになりました。

## 回答報告のお願い

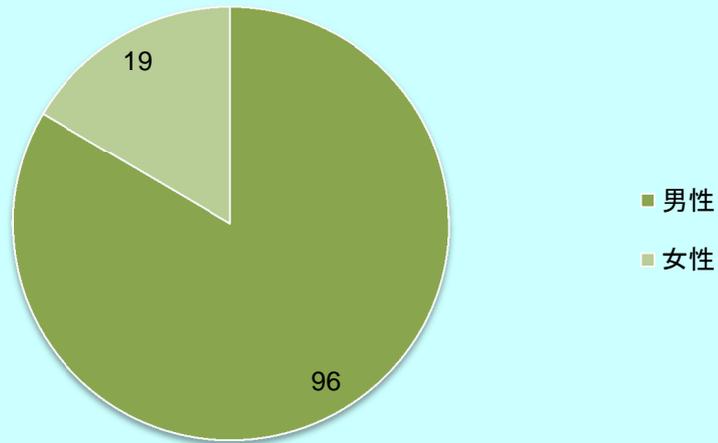
短期間の実施にも関わらず115名の方から回答を頂きました。多くの建設的なご提言を頂き感謝申し上げます。安全面の関心の高さに驚かされました。回答結果を集計しご報告申し上げます。本報告を参考にして埼玉県協会理事会で安全対策を検討いたします。本報告が都道府県協会、学連、各クラブなどが安全対策の検討用資料としてお使い頂けるなら幸いです。一言、使用しますと担当までご連絡いただければありがたいです。

2018. 6. 19

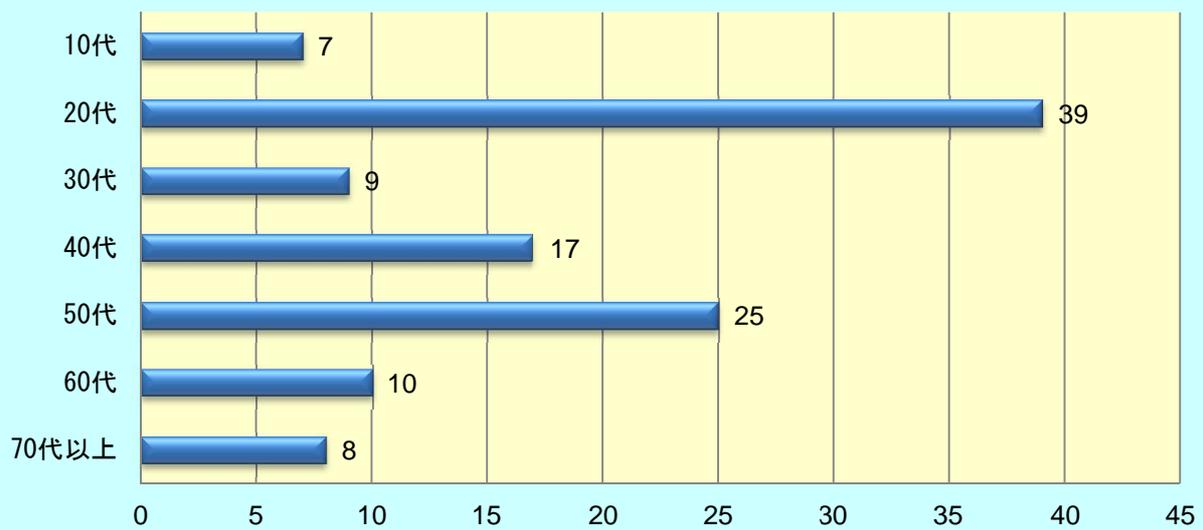
## — 目 次 —

|  |    |
|--|----|
| 質問 1. 性別   | 2  |
| 質問 2. 年代   | 2  |
| 質問 3. 回答者の立場   | 2  |
| 【主催者向け】質問 4. 公園管理者に大会許可申請（事前の打合時を含む）<br>を行った時  | 3  |
| 【主催者向け】質問 5. 前問で「条件を付けられた」又は「不許可となった」と答えられた方へ、<br>どんな条件ですか、又は理由ですか                     | 3  |
| 【主催者向け】質問 6. 今までに公園管理者や来園者から苦情が<br>ありましたか  | 5  |
| 【主催者向け】質問 7. 前問で「苦情があった」と答えられた方へ、<br>どんな内容の苦情ですか                                       | 5  |
| 【主催者向け】質問 8. どんな安全対策を実施しましたか   | 6  |
| 【主催者向け】質問 9. 安全対策のガイドライン化は必要と思いますか   | 6  |
| 【参加者向け】質問 10. 今までパークOに参加し来園者と交差して<br>危なかった経験は  | 7  |
| 【参加者向け】質問 11. 前問で「ある」と答えられた方へ、<br>どんなケースですか  | 7  |
| 【参加者向け】質問 12. 遊具広場などの混雑エリアは地図に進入禁止記号が<br>必要ですか   | 9  |
| 【参加者向け】質問 13. コントロール設置場所の規制は必要ですか  | 9  |
| 【参加者向け】質問 14. 参加者が守るマナーのガイドラインは<br>必要と思いますか  | 10 |
| 【共通】質問 15. 広い芝生広場で多くの家族や子供が遊んでいます。<br>そこを横切って直進するのが最短コースです。安全面を考えると<br>どの方法が一番よいと思いますか | 11 |
| 【共通】質問 16. 今後のパークOについてどのように感じていますか   | 12 |
| 【共通】質問 17. 自由記述欄です。何でもお書き下さい   | 13 |

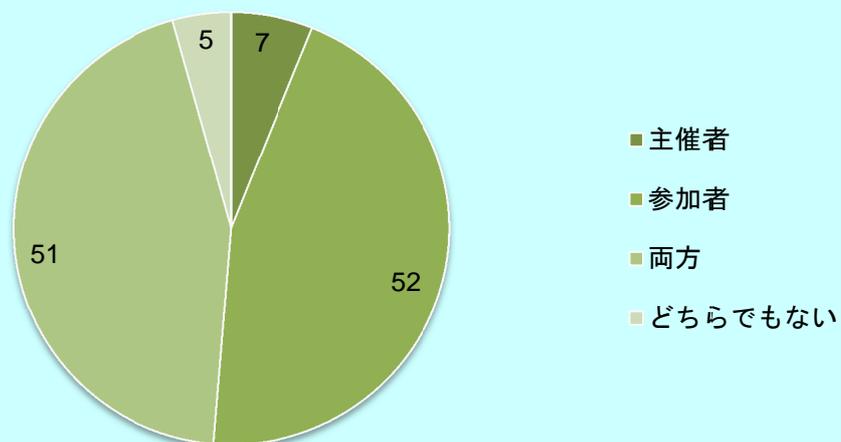
### 質問 1 回答者の性別



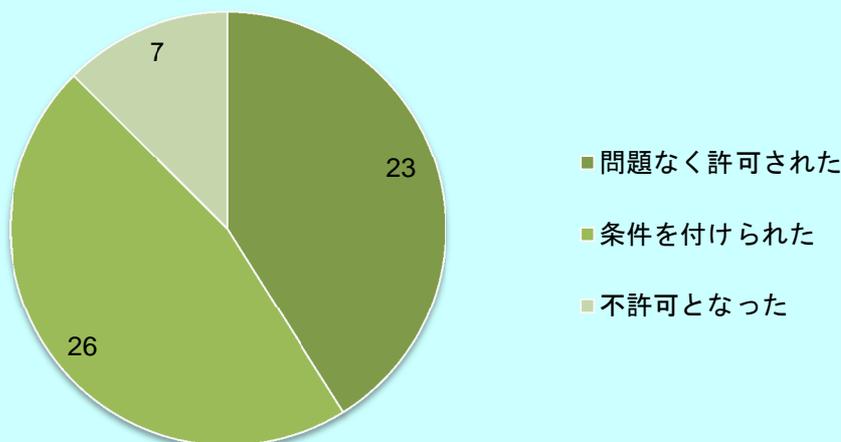
### 質問 2 回答者の年代



### 質問 3 回答者の立場



### 質問4. 公園管理者に大会許可申請を行った時

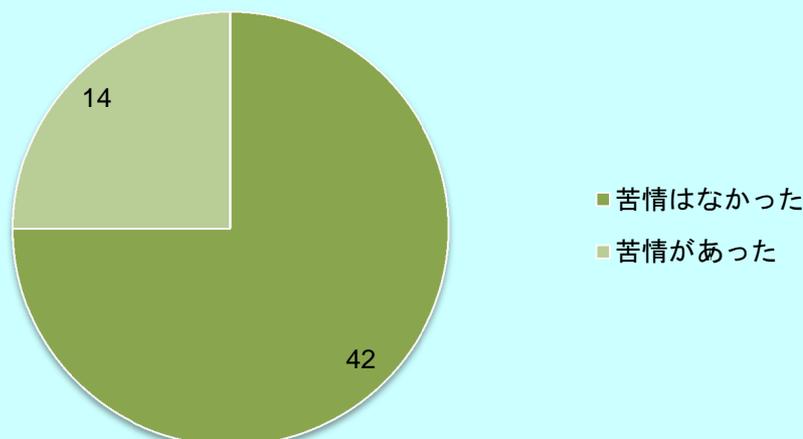


### 質問5. 前問で「条件を付けられた」又は「不許可となった」と答えられた方へ、どんな条件ですか、又は、理由ですか

- ・ある公園は来園者との接触が懸念され利用不可。
- ・上記と別の公園は、来園者との接触事故に注意するようにとのことだけ。
- ・公園来場者に対する安全対策の具体案の提示を求められた。
- ・公園内の生垣などへの影響がないかを確認された。(コントロール設置場への同行)
- 10年以上の間、年2回はパークOの運営をやっています。大抵は許可されますが、たまに開催日の変更を頼まれます。
- ・一番多いのは、自転車やランニング大会・フリーマーケットなど他のイベントとの重複です。まれに人出の多いGW・夏休みを避けて欲しいと言われますが、これは公園管理事務所長さんが慎重な人である場合です(GWに札幌中心部の中島公園で開催許可されたこともあります)。
- ・「熊が出て公園閉鎖になることが多いから9~10月は避けたほうが良い」とアドバイスされた公園もあります。
- ・また木道が腐りかけているので通らないよう依頼されたこともあります。
- クレームがつかないようにうまくやってくれとの旨でした
- ジョギングロードを逆走しないこと。バーベキュー施設、子供広場は通過しないコースを。駐車場は走行禁止。など
- フラッグ等、ものを置くことに対して苦情がくるとのことです。不許可。(この他、安全面に対しても、接触事故の懸念ありとのコメント。本当の理由はこっちなのでは?と推定)
- 安全対策、立ち入り禁止箇所の指示。並びに事前にコース図の提出。
- 一般来園者に迷惑を掛けないとか、参加者の安全を配慮するとか当たり前のことです。
- 一般来園者への配慮として、開催日は一般来園者の少ない季節とし、コースは一般来園者が多く行くエリアを避けること。衝突は絶対に起こさないこと。
- 駅前や病院前で人通りが多いため、安全性から許可がおりなかった。
- 公園内でのイベント開催時や花見時など来園者の多いときは不可。特に日曜日は難しい事が多い。
- 公園利用者のクレームリスク

|   |
|---|
| <p>工事を行っているため場所を限定 貴重植物があるため藪の中に入ることを推奨しない イベントを行っている人が多い日程は不可</p>  |
| <p>国営公園だったの膨大な提出資料の記載があった。幸い、過去の経験のある仲間から資料を頂け、参考に記入出来た。</p>  |
| <p>参加者駐車場の制限、役員の車乗り入れの時間制限(本来、許可があれば自由)、エリアを大きく占拠しない</p>  |
| <p>使用禁止箇所の説明があった。(芝生広場で少年サッカーをしている団体があり、問題を起こしてほしくないとの説明あり)</p>   |
| <p>子供が多い遊具のある場所は使わないように言われた。</p>  |
| <p>子供たちや高齢者の人たちが、日頃から利用している公園などを利用して大会などを開催する場合。その公園などが、いろいろな施設を備えている場合など。</p>  |
| <p>事前に大会告知のポスターを数カ所掲示し、イベントを周知すること。</p>   |
| <p>条件つき：子供の遊び場(遊具等が設置してあり子供が集まりやすい場所)は立ち入り禁止とすること。不許可：他のイベントと被っているため。</p>   |
| <p>他の公園利用者との接触等で、苦情が入ると困る。</p>  |
| <p>大会 公園の一部エリアが企業の管理の元にあったが、以前は利用可能だったものが管理企業が変わって利用できなくなった 来園者の多い広場の横断禁止 練習会・体験会アングルを地面に突き刺してはいけない 木の枝や柵にフラッグを吊り下げてはいけない</p> |
| <p>大会開催前にコース図を公園事務局に見せることを求められた また見通しが悪く一般の方との接触の可能性がある所には運営者を置いて注意喚起するように言われた</p>  |
| <p>東京都の某公園でパーク O を企画した際に、フラッグの植生への吊り下げとアングルの突き刺しを断られたことがありました。競技時間中、運営者がフラッグの箇所を定期的に見回することを条件に開催を許可されました。</p>                 |
| <p>敷地内でアングルを刺さないという条件。</p>  |
| <p>複数回答ができないので、アンケートの趣旨を汲取って NG の場合を書きます。子供の遊具エリア中心の公園なのでオリエンテーリングは許可できないとの回答でした。</p>   |
| <p>木村佳司がコースをコントロールしているから</p>  |
| <p>誘導員の配置を求められたことがあります。</p>   |
| <p>来園者配慮で日程を制限</p>  |
| <p>立入禁止区域や一般の方への配慮</p>  |

質問6. 公園管理者や来園者から苦情がありましたか



質問7. 前問で「苦情があった」と答えられた方へ、どんな苦情ですか

- ・公園内を電車型バスが定期運行しているが、競技者がひっきりなしに通りすぎてバスの通行をさまたげた。
- ・生垣をとびこえて、その先にいるお子さんを驚かせた
- ・崖から飛び降りて、その先にいるお子さんを驚かせた(崖は通行不能崖表記)

イベント開催日(土)に通常の大会を開催した際、来園者から公園管理者に走行は危険だと苦情があった。(事故は無かったが)

こんなに激しいスポーツだとは思わなかった。事前に説明して欲しかった。

ジョギングロード利用者から逆走者がいて危険だったこと。

一般来園者のすぐ横を全力で走る、子供遊んでいるところを平気でつきついていく。見通しのない植え込みからいきなり飛び出す。サイクリング道路(自転車優先)なのにそこを走る。

建物のロビーの一角で計センを設置させてもらった時に、読取待ちの列が長くなってしまい、ロビーで展示会している他団体に迷惑を掛けました。

参加者が猛スピードで走るのは危ない。芝生の上で上半身裸のものが着替えているのは好ましくない

水場の木橋を使うコースにしたところ、レース途中で公園管理者から危険だと注意を受けた。

走っている競技者が歩行者と衝突する危険があった。

池の中の木の橋は子供も通るので、ランナーは通らないでほしいとの話が公園事務所からあった。

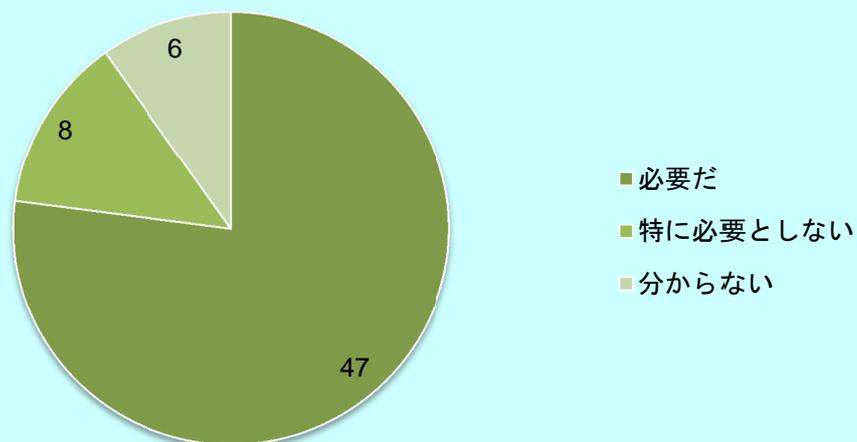
伝聞も含めて

- ・反対から走ってくる人がいる(ジョギングコースのある施設で)
- ・管理棟へなんのイベントかという問い合わせがあると、上役はあわててどうなっているのかと言ってくる。(よくわかってきている担当の方はありがたいです。)
- ・駐車場を目的以外に使うな。(とぼっちです。そうでもしないとたむろする若者を排除できないことがあった。)
- ・雨の日や、どろだらけはあるていどどうしようもないのでひたすら掃除してあやまる。

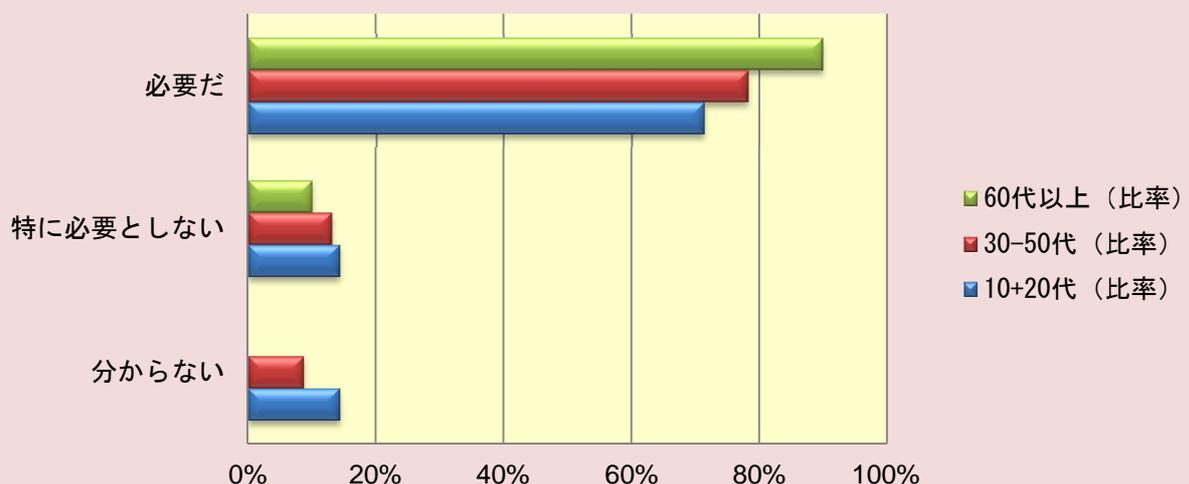
### 質問 8. どんな安全対策を実施しましたか



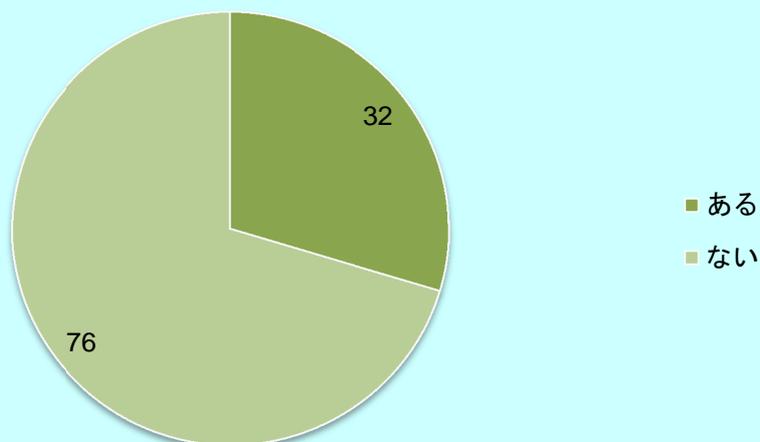
### 質問 9. 安全対策のガイドライン化は必要と思いますか



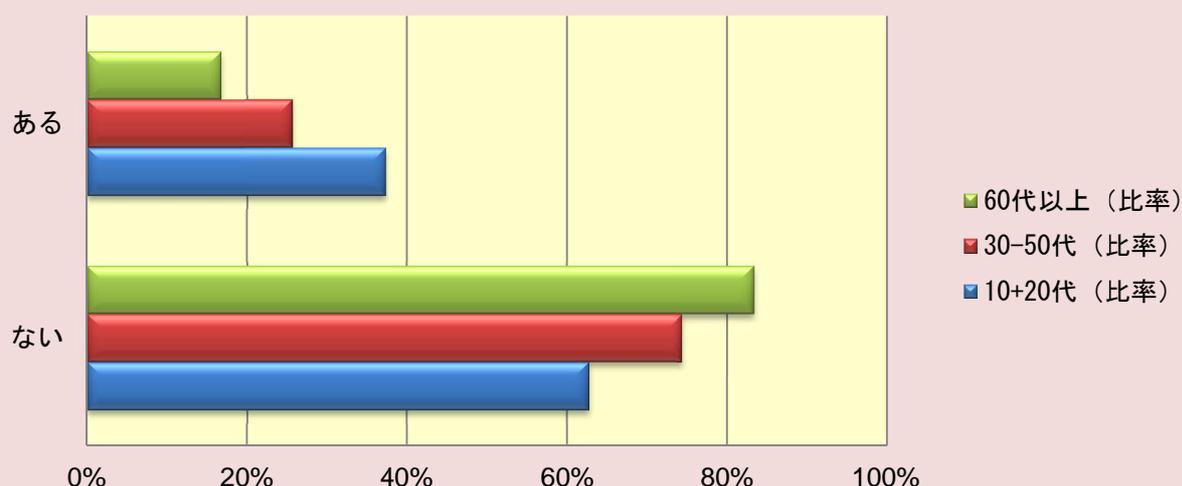
### 質問 9. 安全対策のガイドライン化は必要と思いますか (年代別に比率集計)



質問10. パークOで来園者と交差して危なかった経験は



質問10. 今までパークOに参加し来園者と交差して危なかった経験は（年代別に比率集計）



質問 11. 前問で「ある」と答えられた方へ、どんなケースですか

4 歳ぐらいの子供を追い越そうとした際に、子供が急に進路変更したため接触しそうになった。直前で回避できたため、事故には至らなかった。

ゴール直前で来園者と交錯しそうになった

コントロール周りにビニールシートを広げ昼食を取られている来園者がいらっしまった。

スタート直後に自転車とぶつかりそうになった。直後は地図読みに集中するので配慮が必要に思う

とある公園の水辺にある小径にて走っていたところ、対向の親子連れを驚かせてしまい親子連れが思わぬ方向へ動いたため交差しかけました。実際の衝突はなく、すぐに当方が頭を下げたところ大丈夫と話されたため、そのまま立ち去っております。開催者には報告しておりません。

角を曲がる時ぶつかりそうになった

競技と記録に注意が行き過ぎて、一般の来園者が近くにいるのにギリギリを通り危ない思いをしている方を見た事があります。

建物の角にフラッグが置いてあり、アタックの際にスピードを上げた時に、一般来場者と衝突しそうになった。正直なところ、他にも思い当たる節はいくつもある。自転車と衝突しそうになったり、立入禁止に気付かずに走行してしまったりなど。

建物の壁沿いから出たところで、子供がいたので避けようとしたが足が滑り転倒。接触は無かったがぎりぎりでした。

今年の初め関東パークツアーに参加しましたが、フィニッシュへ向かう吊り橋を渡る一般のご高齢の方がいたため、橋を揺らさないようにゆっくり渡りました。結果、タイムを2分近くロスしたと思いますが、正解だったと思います。その前後にフィニッシュした方もいますが、結構早いラップでしたので、高齢の方は怖かったと思います。競技者のマナー違反とも思いました。

事故例はないが混雑時に走行(競争)するのは危険と思いました。

車道の側道が狭く、その範囲で追い越しを余儀なくされた場合。立体交差やトンネルなど、視界の悪い曲がり角などから突然飛び出す形になる際。

植え込みや建物の角から歩道へ出ていくとき、コントロールパンチ後の脱出で急な方向転換をするとき

森の中から舗装路へ飛び出すときに自転車と交錯しかけたことが何度かあります。森から飛び出す際には歩行者に気をつけてはいますが、自転車の場合は互いに速度が速いためケアしきれないように思います。

前方で歩いていたグループが、仲間内で突き飛ばされた人がこちらとぶつかった。

前方不注意の自転車とぶつかりそうになった。

走っている子供との接触未遂

地図に夢中になり前からくる来園者と衝突しそうになった。

地図を見て走っていて来園者とぶつかりそうになった

地図読み中に歩行者と交錯しそうになった

池の上の狭い橋を渡るとき、小さな子供を伴った家族が橋の上から池の鯉を見ていた(そこだけは歩いて、ゴメンナサイと挨拶した)

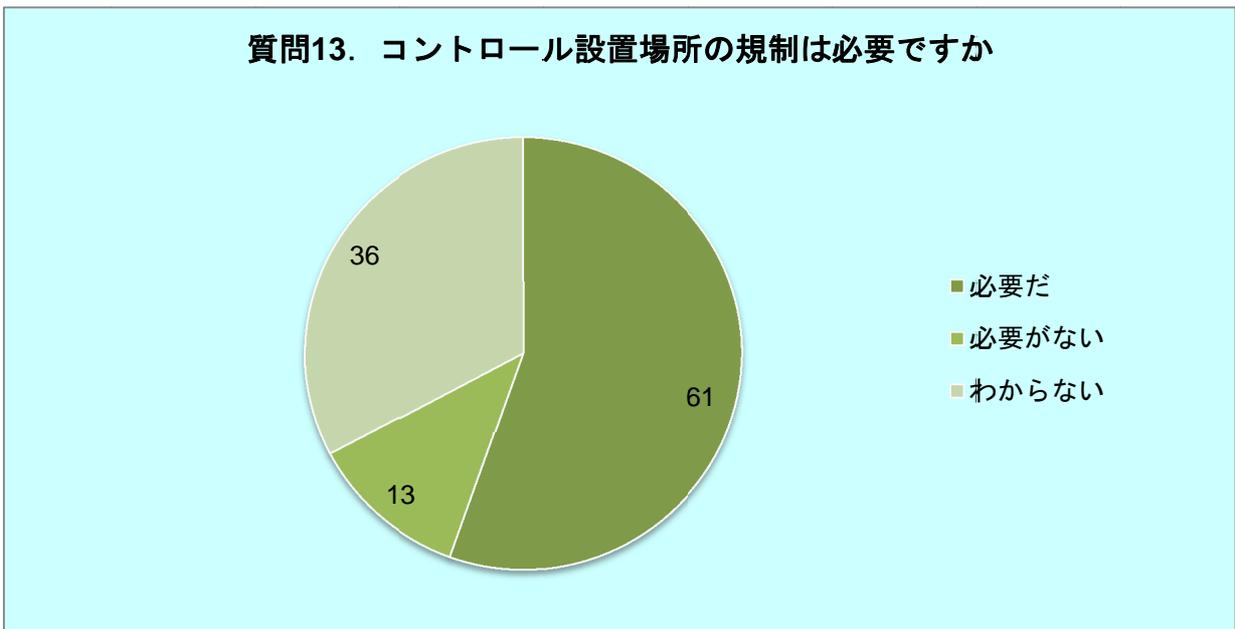
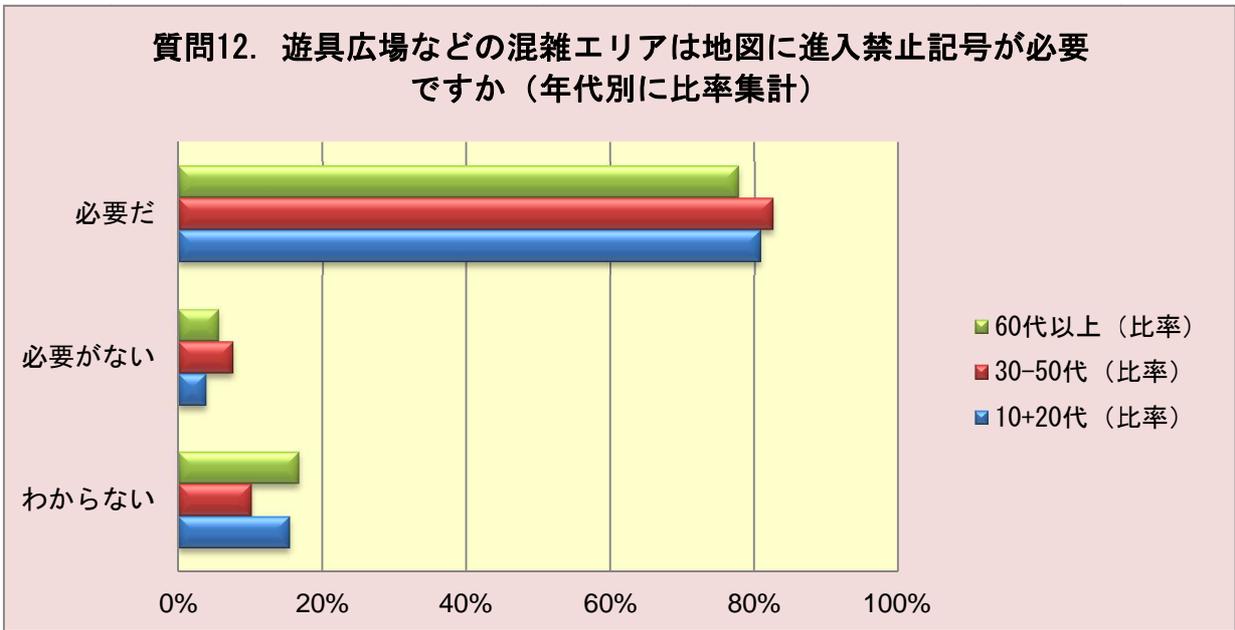
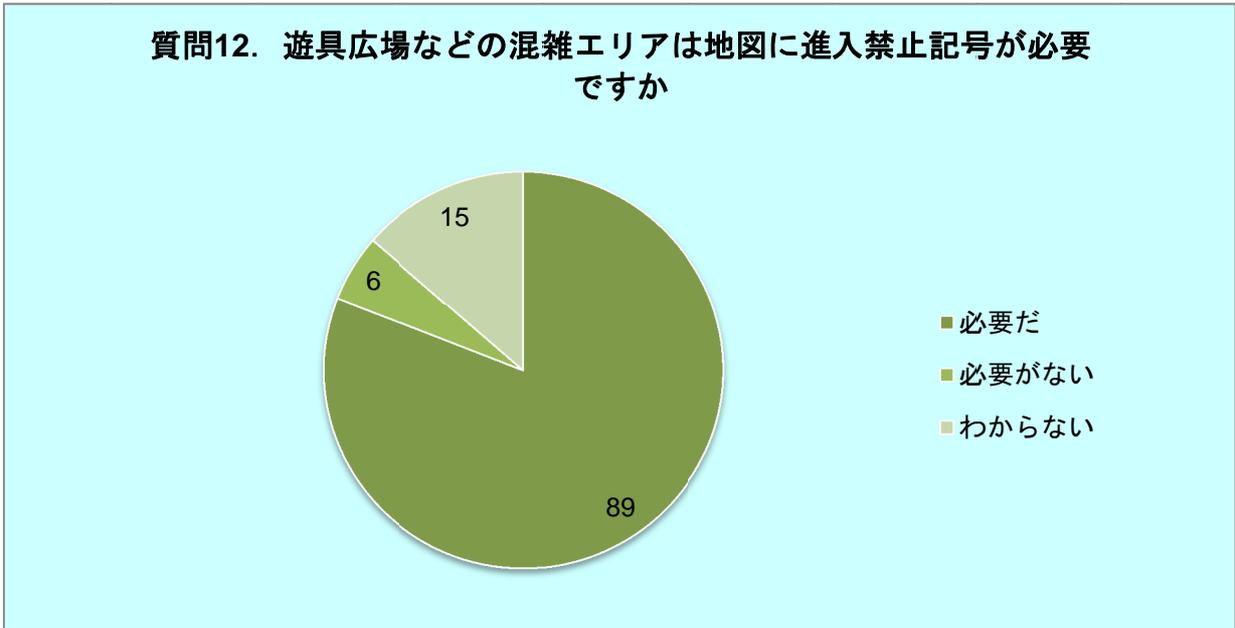
不整地から道へ出るとき。

物陰から不意に出てきた来園者とぶつかりそうになるケースや、狭い路地を走行中に路地を塞ぐような大人数の来園者とすれ違いぶつかりそうになるケース

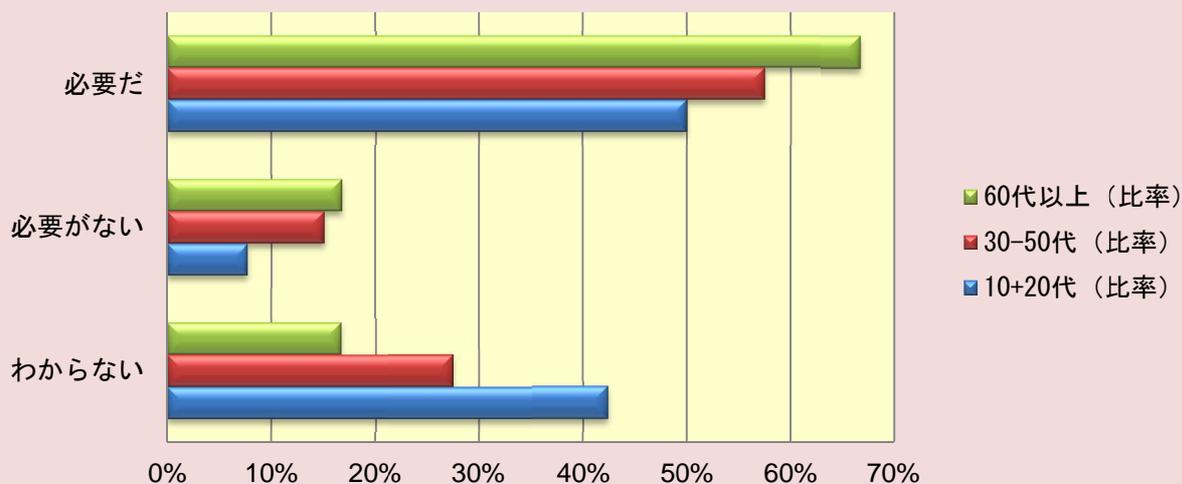
遊具エリア等、混雑してる場所

遊具が多い公園で、小さな子が道に駆け出して来たり、自転車でふらついた際に、ぶつかりそうになった。

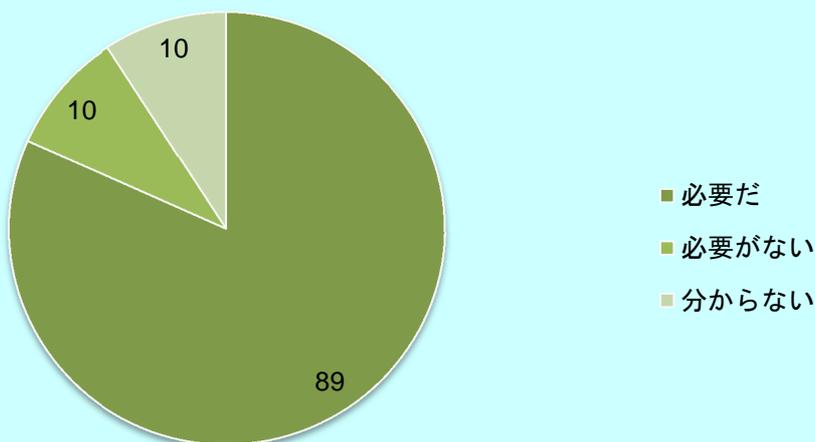
藪から藪を小道を横断しようとして自転車にぶつかりそうになった



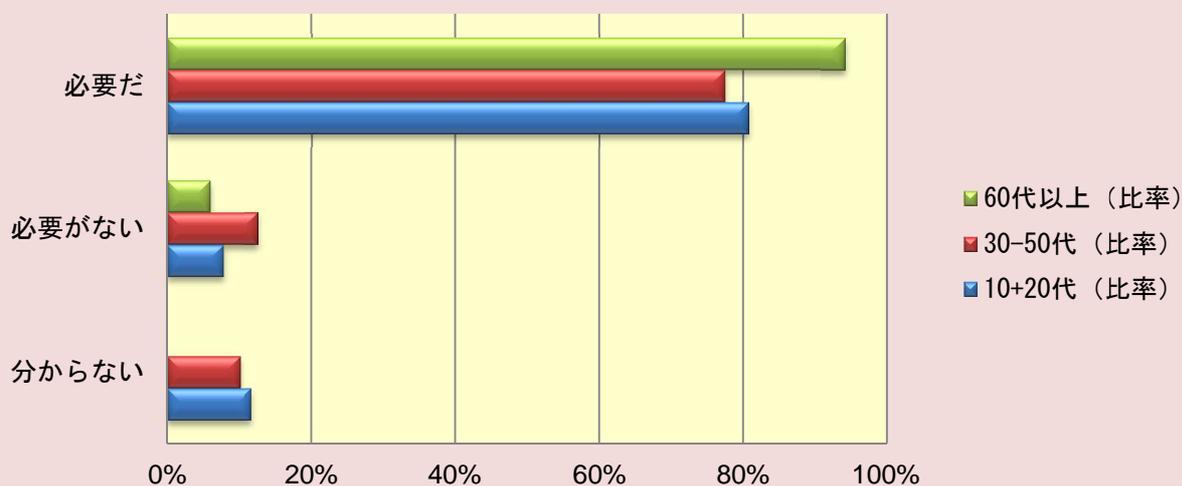
質問13. コントロール設置場所の規制は必要ですか  
(年代別に比率集計)



質問14. 参加者が守るマナーのガイドラインは必要と思いますか



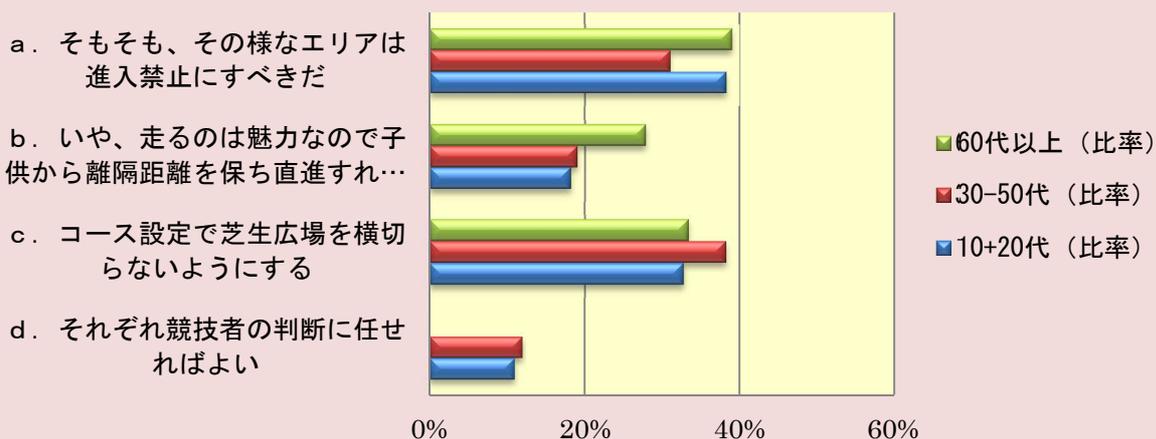
質問14. 参加者が守るマナーのガイドラインは必要と思いますか  
(年代別に比率集計)



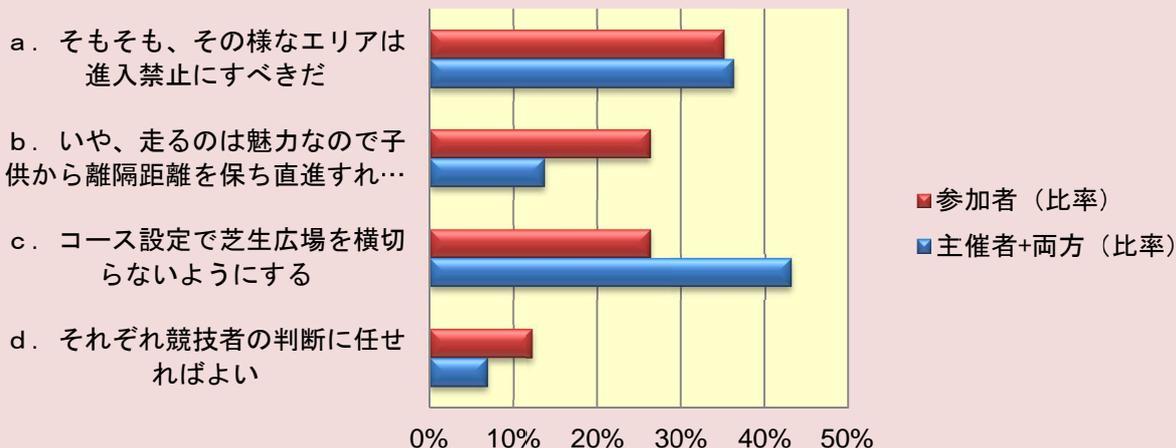
質問15. 広い芝生広場で多くの家族や子供が遊んでいます。そこを横切って直進するのが最短コースです。安全面を考えるとどの方法が一番よいと思いますか



質問15. 広い芝生広場で多くの家族や子供が遊んでいます。そこを横切って直進するのが最短コースです。安全面を考えるとどの方法が一番よいと思いますか (年代別に比率集計)



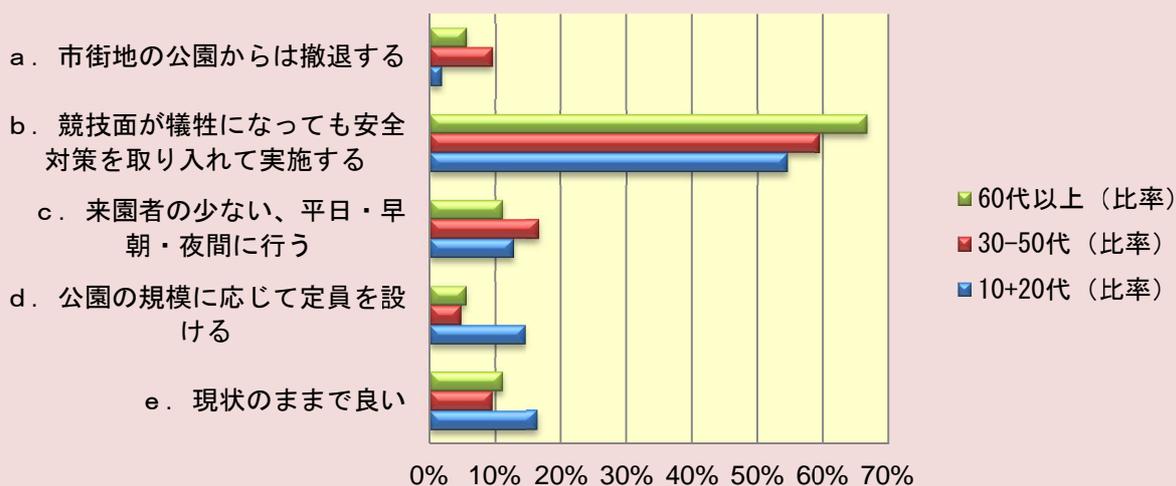
質問15. 広い芝生広場で子供が遊んでいます。そこを横切って直進が最短コースです。安全面を考えるとどの方法が一番よいと思いますか (回答者の立場別に比率集計)



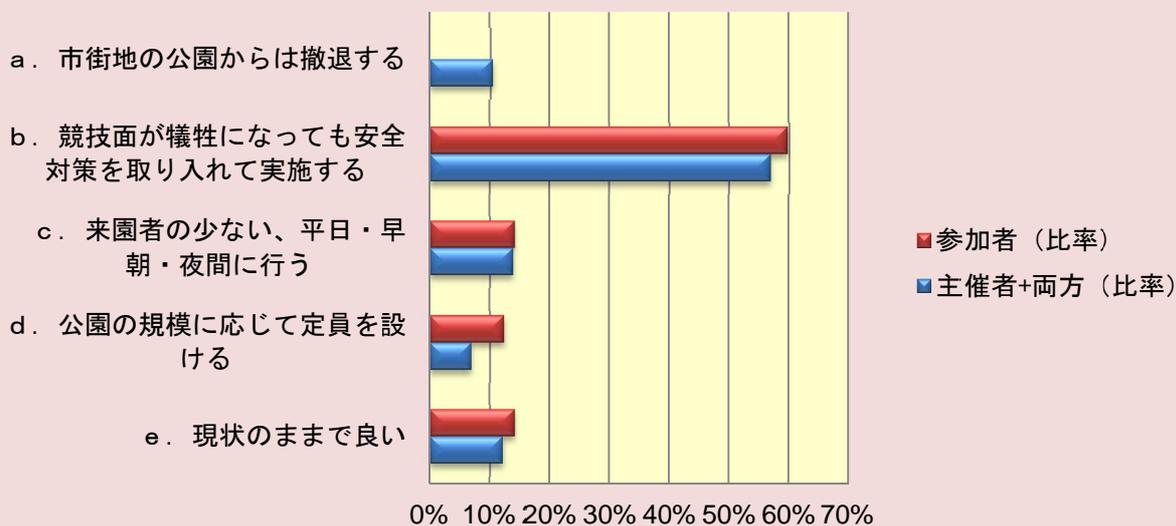
質問16. 今後のパークOについてどのように感じていますか



質問16. 今後のパークOについてどのように感じていますか  
(年代別に比率集計)



質問16. 今後のパークOについてどのように感じていますか



**質問 17. 自由記述欄です。何でもお書き下さい**

「安全であるはずの公園で人とぶつかった。オリエンティアだった。」つるまいオリエンテーリングクラブさんの競技者への啓発コピーです。公園利用者が怖い思いをしないようコース設定の工夫や立入禁止区域の設定を。

「規制やガイドラインが必要」というスタンスで答えさせていただきました。本来は、マナーの問題で、わざわざ規制することではないと思っています。でも、どうしても一定数の「他人のことなんかどうでもいい」と思っているというか、そもそも「他人を気にする」という項目が頭にまったくない方がいらっやいまして…(トレランで痛感していることなのです)。あらかじめ、人が多いことがわかっているのであれば、立ち入り禁止にするのが一番いいと思います。不幸な事故が起きてしまう前に。

「他の公園利用者にボールが当たると危険だから、公園でのキャッチボールを禁止する」とか「落下すると危険だから、遊具を撤去する」といった公園の存在目的を踏みにじる本末転倒な対応と似たような、過度な対応がされないように、対策を考える必要があると思います。こちらが安全対策をするのと、僕らが何をしているのかを知ってもらうことも大事だと思います。公園でオリエンテーリングをしていて、小さな子ども達に「何してるの」「やってみたい」と言われたことが何度かあります。体験会などを同時に開催して、オリエンテーリングを知っている人を、少しでも増やしていくことも大事だと思います。

1. パークOでは、来園者との接触よりも花壇・植込みへの侵入の可能性を減らすコース設定を第一に考えています。公園では接触事故よりも植栽を踏み荒らす方が問題の大きな行為と考えています。

2. 公園管理事務所との打合せでは、必ず「1分間隔で数名が違う方向へ走り出す」ということを説明します。『走る競技』と言うと、マラソン大会のようにマススタートで園路幅一杯に広がって走り出すイメージをお持ちの方が多くですが、クロカンスキーのように1分間隔でスタートと分かると「園内を走っている一般ランナーと同じですね」と安心して頂けます。

16に関しては、ベストな回答が思いつきませんでした。すみません。海外の市街地スプリントの様に、一般通行者と競技者双方の理解がとれることがベストであるが、日本での競技に対する一般認知度や、競技者マナーを考慮すると、現状公園の繁忙期では開催が難しいと考えられる。開催時期を限定する、利用者の少ない時間帯、土地を選ぶなどの工夫が必要である。山と異なり、選手をより近くで観戦できることはスプリントの魅力でもあるが、認知度や理解が得られなければ、それらの利点が仇となるため、運営者、競技者共にモラルが求められると考えている。

Sクラスも「関東パークOツアー」の対象に取り入れて欲しい。

オリエンテーリングを楽しむ方が増えることは競技人口が増えることに繋がると思うので、パークOはその導入としてあるべきだと思う。従って参加者側は安全面を考慮して地図を作成、コースを組むことが必要だと思う。

ガイドライン等を一元化して作る必要は無いと思う。運営者の判断と工夫に任されて欲しい。参加者に警告するためのフォーマットはあってもよいかも(現在プログラムの注意事項になってるの)。ただでさえ通行不能ルールを減らした方が良いスプリントでルール化するのは望ましくないのでは。

このアンケートでは偏った意見しか得られないと思う、討論形式のケースステディが良い。で、高村さんをメイン講師にした学連の講習会で参考データとして使いたいのので、結果を回して下さい(山川)

これまでに膨大な回数のパークOをやってきてまだ重大な接触事故が起こっていないのは、それなりに競技者が注意すれば事故はまず起こらないことを示しているといっていると思います。質問16のa,c,dは現実的な対策ではありません。しかし危険の確率が有ることは間違いないのでeは避けるべきです。結局競技者への繰り返し徹底した教育をメインの対策(ガイドラインを設けるだけではだめ)として、遊具や芝生の混雑部分を立入禁止にするとか、コース設定で安全面を考慮するなどの組み合わせではないでしょうか。適切な対策でパークOがいつまでも続けられることを強く期待します。

スプリント志向の競技者も娯楽志向の競技者もいっしょのコースを走ったり歩いたりできるのがパークOの魅力です。その意味で、質問16の回答として、同日の朝にスプリント志向の選手に走ってもらい、その後娯楽志向の選手を出場させるような運営ができればいいんじゃないかと思います。(運営の負荷が高くなるかと思いますが…)

とても難しい問題です。参加者、主催者、公園に居る一般の方々、それぞれにいろんな考えがありますからね。タイムを競う競技ではあるが、公共の場所である事を考えると、参加者が一歩譲らなければならないのかなど。どこまでと線引きが難しいですが。

パークOは、運営・参加ともに気軽にたのしめるイベントであるので、ぜひ継続させたい。

パークOはタイムを競う競技である以上、参加者は地図読みに集中して最短距離を全速力で走ります。車の運転手が車席に座ると歩行者が邪魔のように感じます。これと同じように参加者は来園者を邪魔に感じるのは人間の心理です。通常はマナーやモラルは分かっているけど競技となると忘れるのも人間の心理です。やはり安全対策は主催者が行うのが基本と考えます。

パークOは気軽に参加できる良い大会が多い一方で、危険な箇所も散見されます。涉外対策だけでなく危険箇所の共有なども必要だと思います。

パークOは子供にとって安全なものと負荷が小さいので個人的に非常に好きです。POは以前に比べると高い競技性が求められています。速いオリエンティアが0.1秒を争う代償に周囲の一般来園者が見えていないと感じます。一般の方から見たらオリエンテーリング競技は「ながらスマホ」と同じです。周囲からはトップスピードで走る不審者として見られ警戒されていることを自覚したほうがいいかもしれませんね。都市型の狭い公園含め、混雑するような箇所を交錯するようなコースを組むなんてありえませんがしばしばそのようなコースを見かけます。やみくもに規制をかけるのではなく、コースセッターのトレーニング、事前の現地確認等を十分にするなどの対策が必要だと思います。場合によっては都市型公園での開催は制限する必要があるかもしれません。

パークOは全面的に撤退すべき。そもそも、公園でオリエンテーリングすること自体が、おかしいことだ。昔でいうトリムOや、徒歩OLのレベルならともかく、仮の許可を得たと言っても、公園を半ば独占的に使用することが間違っている。

パークO開催時、一般来園者に理解してもらうことでトラブルも減ると思います。(オリエンテーリングイベント開催中ののぼりを立てる、説明のフライヤーを配布する、一般参加クラスを充実させるなど)

パークオリエンテーリングではタイムを競わないようにすれば良いと思います。

安全面をあまり考えすぎると何も出来なくなってしまいます。

参加者の判断に任せて何かあったら参加者自身の責任で対応すれば良いと考えます。

運営者として 大会開催予定日とできるだけ同じ条件(できれば1年前)に、公園の環境を確認しています。また、地図調査中に、常にこの場所にコントロールを置いて大丈夫かどうかを意識し、コース設定に反映しています。安全性の許容範囲と競技性のバランスのせめぎ合いです。なお、コントロールフラッグが、いたずらにあわないようにという別の面での安全性にも意識しています。

運営者として公園管理者とよく話をします。公園の規則上は「自由通行の範囲」でオリエンテーリングは可能であるため、多くの場合、許可不要のケースとなるということです。ただし、一般の方優先との条件がつきます。このことをきちんと競技者へ理解させることが重要です。一度事故を起こすと公園での競技ができなくなることを認識させるためにもガイドラインは必要と思います。

海外では、公園は勿論、市街地もトレインになっている。行政(特に福祉・スポーツ関係部署)や市民へのPRや説明が必要と思います。もっと協会もその方針やPRを拡大すべきと思います。そうでないと公園などでのOLが不可能になるでしょう。

関東パークツアーの魅力は、参加に対しての敷居を低くしてあることかと思います。最低限のマナーは必要と考えますが、なるべく規制は最小限にすべきと考えます。

関東パークOの場合は、競技者の大部分が、成績重視の考えをもって大会に参加しているでしょうから、全部の大会に出場するまではいかなくとも、大会に出場する以上、タイムを重視してしまうためコース設定に置かれたライン上は、万が一にも他の一般市民たちに迷惑をかけることになりそうです。

競技者が安全性についての重要性和良識的な行動を守れば、存続できるものだと考える。

公園でのオリエンテーリングは、オリエンテーリングの世界的な普及が目的で、スプリント種目の創出とともに、広く行われるようになったときいています。最近の日本国内の公園管理はちょっとガラパゴス的というか、世界のトレンドと乖離している気がします。そもそもオリエンテーリング競技者のみならず、それ以外の公園利用者の行動を逐一管理できるはずもありません。オリエンテーリングがポピュラーな欧州各国でも、公園開催の場合、どんな渉外、交渉、運営をしているのか、情報収集や調査が必要かもしれません。

公園での開催においては競技開催日の選択・競技設定・コース設定が特に重要と考えられる。

- ・競技開催日は一般来園者が少ない日(時間も)を選択すべきである。競技設定においては、競技者はウィニングタイムが短いスプリント競技では衝突への注意力が低くなる、リレー競技は仲間への責任意識から衝突への注意力が低くなると考えられるので留意したい点である。また定員を設けることもリスク低減に必要となる。

- ・コース設定においては、一般来園者が多いエリアは避ける。また、オリエンテーリングの認知度向上のためには一般来園者の目に入ることも望ましいが、衝突リスク低減のためには一般来園者の目に入らないくらいのコースが良い。以上の点を考慮してもリスクを抑えることができないような公園トレインでの大会は開かない方がよい。

公園は、施設の更新も多く、それによって来園者の動向も大きく変化する。またその日のイベント内容によっても量・質ともに激変する。年何回かの同条件試走(時刻や天候)を行い、また通常来園者としての視線での動線などは把握しておくべき。パークOはそれぞれ大きく条件はことなるので、ガイドラインというより本当に能力のあるイベントアドバイザーが必要だと思います。

公園を使わせていただけることに感謝の気持ちを持って、安全のために自分の記録が犠牲になることも意識しながら楽しみたいと思っています。

公園管理者の危惧も理解できるので、一定の配慮を行いオリエンテーリングイベントを実施すべきだと思う。

広場の直進を制限するのは反対(まったくつまらなくなるので)遊具近辺の進入禁止は賛成

今までかなりの回数参加していますが、ヒヤリ！、危ない！という経験はほとんどありません。年寄なのでそれほどスピードが出ないことと、自分なりにプログラム等に表示されている接触防止の注意事項を守っているからかなと思います。逆に子供連れの母親などから「がんばって」とか「何をしていますか」と聞かれたり、遊歩道などで一般の来場者を追い抜くときには「すみません」など必ず声をかけるようにしていますが「どうぞ」など好意的にしてくださることが多いです。公園といってもその広さ、植生、遊具等の配置、混み具合等様々で一口には言えませんが、接触事故は絶対避けるべきでしょう。一番は、子供が多く集まるエリア(遊具など)は立禁にするのがベストだと思います。あとは速い人の意識の問題でしょうかね。とにかく末永く魅力ある公園でOLができればいいなと切に思います。

今まで事故が起きていないのが不思議なぐらいです。一回でも事故が起きて、その対応を誤れば、国内の全ての公園でのパークOは開催出来なくなります。運営者が対応を取るの当然ですが、参加者側の意識を上げることを忘れてはならないと思います。公式掲示板なんかにも書いても言い訳にはならないです。あくまで「外部」の視点でどう判断されるか、を見て欲しいです。内輪の理論なんかどうでもいいのです。

今後も市街地の公園などでも実施の可能性は探っていくことは必要かと思いますが、そのための対策も必要です。郊外、特に過疎地では実施を進めていくのがよいと思います。こうした地域では公園のような公共施設の利用促進という観点や、なにより、地域おこしの観点がとても求められています。ちょっと言い方がよくないかもしれませんが、無価値な土地(利用されていないような公園など)に地図を作ることによって価値を与えそれを用いてイベントを開催することは、オリエンテーリングのようなイベントの開催にピッタリだと思います。

今年に入ってから参加したパークOを振り返ってみたところ、そのほとんどで来園者とすれ違う危ない場面がありました。このままではいつか、来園者とのトラブルが発生してもおかしくないなので、現状のままではなく何かしらの対策を打つ必要があると思います。

混雑しているエリアや遊具回りは通らないようなコース設定とか、迷惑を掛けない配慮は主催者として当たり前のことです。参加者のマナーに呼びかける策しか無いような団体は、イベントを主催すべきでないです。一律に規制するのは、きちんとやっている主催者には迷惑なだけです。

参加人数を制限しても問題の解決にはならない。パークO自体が他の来園者と共存して成り立つ大会なので、主催者としては常時混んでいる遊具近くは立ち入り禁止、子供たちが遊んでいる芝生広場はできるだけコース上にかからないようにする。参加者も他の来園者と共存して成り立つ大会であることをわきまえ、他の来園者と接触しないようにコース取りを考える、全力疾走しない等の配慮が必要である。

子どもを持ってようやく気がつきましたが、小さい子どもの視野は狭く、また予測のつかない動き方をします。子どもの多くいる場所を相当なスピードで駆け抜けていくのは怖いと感じるようになりました。多くの人出が見込まれる場所や日時に開催する場合は、ある程度進入禁止とする必要があると思います。植栽の横断についても、許可が下りている場合でも明らかに花壇と分かるような場所を横切ったりする姿も、一般の人から見れば非常識に映るでしょう。参加者の裾野を広げたいと願うならば、そのような配慮も必要だと思います。

市街地をエリアにしているワールドカップの映像を観ると、オリエンテーリングが競技のみならず文化として根付いている(または根付きつつある)んだと感心する。(それでも私たちの知らないところでクレームは生じているのかもしれないが)日本でも、競技者と公園利用者が共存し合える環境を作る必要があるし、その他途上でクレームが生じるのは発展的な材料と受けとめ、クレームの先にある世界を想像し、創造する努力が必要だと思うので、競技スタイルとしては現状のままで、参加者の意識を向上させていくことが良い。

私は大学のオリエンテーリング部に所属しているものですが、入部するまで競技の存在を知りませんでした。オリエンテーリングは競技の地名度が無いため理解が得られにくい競技であると感じています。また、休日の日中のよう到来園者が多い公園では人通りも多く危険です。パークOに参加する度に競技を重視して他の来園者に迷惑をかける行為をしている方を見ます。そのため、競技を一般の方が、少ない時間帯に行う事、タイムだけを重視せずに安全を優先する事、参加者が多くなりすぎないようある程度定員を設ける事は必要だと思います。また、競技中に最短経路と言う事で、公園内の美化に反するような行為や破壊行為も目立つように感じます。したがって、立ち入り禁止区域を増やし、公園内の美化にも務めるべきであると思います。マナーが守られず、公園でのトラブルが今後も続くような場合でしたら、オリエンテーリングの実施をパークOやスプリント競技は開催を禁止して、競技者以外の人と接触する機会がほとんどないフォレストのみに限定するべきだと思います。

事故が起きてからでは遅いので、次回の大会から立ち禁等の対応を望む

質問 15 の d はおかしい！運営側で判断して、だれでも公平な競技がおこなえるようにコントロールすべき。

質問 15 の d は最悪だと考える 運営者視点では結局安全面に配慮できていない上に、競技者視点では不公平が生じる

上の選択肢、複数ものものにまたがっているのに、択一となっているので複数個選べる設定の方がいいと思います。公園内は安全面に注意して行えるようにすべきでしょう。

正直なところ、タイムや競技性を参加者が犠牲にできるか？否か？が大きいと思っています。仮に何かしらの要因でタイムに影響があった場合に、まあいいか、とか、もう一度同じコースを走ってみればいいのか、とか 思えば、あまり無理はしないとしたりもするのですが。ただ、若い頃の自分にそんなことを言って納得してもらえるか？はちょっと自信がなかったりもします。年代ごとでだいぶ考え方が異なりそうですね。

先述のジョギングロード逆走禁止の件ですが、事前の大会プログラムと当日の公式掲示板に(写真入りで)くどいように念押ししたが、現地で見ていると10~15人に一人くらいの割合で、(部分的にも)逆走者がみられた。(学生が対象の大会)プログラムや公式掲示板を読んでいないか、読んでいても理解していないと思われる。今後は(監視のための役員が増えるが)大きな大会で失格者を出すなどスケープゴートが必要だと思う。(性善説では行き詰ると思う) 同様に、地図上に赤斜線(進入禁止)をかけても無視されれば同じなので、地図上だけでなく現地に進入禁止テープが必要だと思う。(現地と地図上は一致させるという原則どおりに) また、世界の大きな大会同様に、進入禁止地図記号なのに進入しそうなところには、進入禁止テープをつけるのが一般的になればいいと思う。(確かに主催者にとって面倒くさいと思うが...)【先の回答で、コントロール設置場所の規制は必要なとしましたが、これは、コントロールが問題ではなくルートが問題と考えたからです。この意味で、コース設定者のレベル向上や資格制度等を考えるべきかもしれません】

先日主催したパークOではスタート地区到来園者の迷惑にならないように注意喚起の看板を設置しました。

専用競技フィールドではないのだから、一般来園者を優先するのは当然。

大会を運営する側としては、自分が今回挙げたような「プログラムや公式掲示板に注意事項(接触事故注意とか生垣越えるなどか)を大きく書く」程度では抑止力が不十分だと体感しています。また、そのようなルールについては、学生の方がしっかり守れている点もあると思います(スプリント競技の発展、インカレの存在もあるかもしれません)。今一度、全競技者がルールを見直すことは必要かと考えます。また、他の事例を共有することで、例えばコースセットやスケジューリングで防げる課題もあると思います。現状、パークOのコース設定や運営は、個人もしくはクラブのノウハウによるところがあり、個人差が大きいところです。ガイドライン化はぜひお願いいたします。

定員を設ける。渉外が不調に終わった場合の情報公開。トラブル例の周知など。まずは情報公開、情報の共有が必要

複数回答可なら、質問 15:c 質問 16:b も選びたいです。一般来場者の多い市街地の公園で、1分1秒を争うレースをするのは、かなり無理があると思います。ぶつかる等の事故の危険性が一番ですが、一般来場者の動きによっては、かなりの運・不運が生じる可能性もあり、公平性の点でも問題がありそうです。(例)私が参加したある大会では、芝生広場を最短距離で突っ切ろうとしたら、その場所で一般来場者が野球をしており、ダイヤモンドを突っ切るのはまずいだろうと、迂回を余儀なくされました。早くにスタートした他のオリエンテーリング参加者に聞いたところ、その頃はまだ野球をやってなかったもので、まっすぐ行けたとのことでした。今後市街地の公園で開催するにはどうすればいいかですが、可能なら、公園全体を(広大な公園なら、一部を)完全に借り切ってしまうと、一般来場者は入れないようにする、という案が思い浮かびます。あまり現実的ではないとは思いますが。

複数選択できるとうれしいです。毎回一定の安全対策が必要なことは疑う余地がないですが、一方でケースバイケースな面が大きく、規程化には困難が伴うと思います。ガイドライン等を定めるなら、具体的な手法などを書きすぎることなく、判断の基準となるべき事柄や、裁量や責任の範囲を明示した形で、多くの視点を盛り込める内容とするのが望ましいと思います。

本質的な問題として、日本でオリエンテーリングの認知度があまりに低いことが挙げられると思います。オリエンテーリングの存在がもっと認知されていれば少なくとも不審者・危険な集団としては見られない。

誘導員の設置や危険エリアの進入禁止といった安全面の対策は勿論必要だが、オリエンテーリングが市民権を得られていないのも課題。当日、一般来場者に体験コースの案内ビラを配る、公園の掲示板にビラ(宣伝+予告)を設置するなど周知も必要。

遊具エリア、子供が大勢いるエリアは基本的に立入禁止標記にすべきと思います。コース設定に規制までかけるほどではないが、一般的にコース設定やコントロール配置で気にかけるべき当たり前のこと、要請といった形でまとめて掲載された方が分かりやすいかと考えます。とてもパークOツアーズの試みは面白く参加させていただいております。これからもよろしくお願い致します。

来園者との事故が起きるとその公園だけでなく多くの公園でのパークOはできなくなる。運営側も立入禁止、コースでの注意が必要だが、競技者も競技最優先でなく、他人の所有地を走らせていただいているということを念頭に置くべき。

立ち入り禁止にしなければ直進しか考えられないけれど、立ち入り禁止にする事により、複数のルートが考えられる場合もあります。立ち入り禁止場所がたくさんあっても、競技性が損なわれるわけではないと思います。

報告書終わり